

TPP交渉に関する説明会

○日時：平成26年6月6日（金）9：30～

○場所：都道府県会館3階 知事会会議室

○議事次第：

1. TPP交渉の状況について説明
2. 意見交換

○資料：

1. シンガポール閣僚会合の結果概要
2. 共同プレス声明 TPP閣僚会合（仮訳・原文）
3. TPP交渉における日米協議の現状
4. 日米共同声明（TPP部分）

平成26年6月6日

内閣官房TPP政府対策本部

TPPシンガポール閣僚会合の結果概要

内閣官房TPP政府対策本部

- 5月19～20日、シンガポールでTPP閣僚会合が開催され、我が国からは甘利経済再生担当大臣が出席した。
- 今回の閣僚会合では、先日の日米協議の進展を踏まえ、各国間の二国間交渉を加速し、閣僚間で交渉全体の進捗を評価することを目指し、市場アクセス、ルールの双方で残された論点について交渉が前進するよう全体会合で議論を行った。
- その上で、今後の作業については、分野ごとに、①事務レベルで決着すべき論点、②閣僚レベルで決断すべき政治的課題に仕分けし、交渉官にしっかりとマンデートを与えて交渉をさせることとした。更に、7月に首席交渉官会合を開催するよう指示を出した。
- また、全体会合に加え、米国、ニュージーランド、マレーシア、シンガポール、ペルー、チリ、オーストラリア、メキシコとのバイ会談も行い、二国間の懸案事項について協議を行った。
- 市場アクセスについては、各国が二国間交渉を通じ、物品だけでなく、サービス、投資、政府調達、一時的入国など市場アクセス全般にわたって精力的に交渉を進めた。我が国も、8か国と二国間交渉を行い、実質的な協議を進めた。

- ルール分野については、知的財産、国有企業、環境について、作業の進捗状況の報告を受け、更なる議論を行っていくこととした。
- 日米間では、甘利大臣とフロマン代表が全体会合が始まる前に会談を行い、全体の閣僚会合の進め方、そのための日米協力の方法について相談を行った。また、残されている日米の課題について、事務レベル協議を進めるため、事務レベルの折衝を精力的に行った。日米間の懸案の解決へ向け、事務レベルで引き続き折衝を続ける。
- 交渉は最終局面を迎えており、我が国としては、早期妥結に向け、引き続き関係国とともに最大限努力していく。

以上

共同プレス声明 TPP閣僚会合（仮訳）
於：シンガポール
2014年5月19-20日

我々、オーストラリア、ブルネイ・ダルサラーム、カナダ、チリ、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、米国、ベトナムの閣僚及び代表は、シンガポールにおいて2日間の閣僚会合を終えた。その間に、我々は、先月の日米協議や先週のホーチミン市における首席交渉官会合の結果を含む、最近の二国間のやり取りについてレビューを行った。

一連の前向きな会合において、我々は、交渉を妥結させるために何が必要かについて共通の見解を確立した。我々は、特に、市場アクセスについて意味のある進展を図ることに集中し、また、残る立場の違いを狭めるために、残されたルールの課題について前進させた。

交渉のモメンタムを更に構築するために、我々は、市場アクセスとルールについて、今後数週間に渡り、集中的な取り組みの道筋を決定した。二国間及びその他の形式で行われるその取り組みの一部として、我々は7月に首席交渉官が集まるように指示を出した。同時に、閣僚は、交渉を導き、調整し、最も困難な残された課題に取り組むために、二国間の関与を継続する。また、我々は、それぞれの国内の協議プロセスを継続する。

この重要な期間における我々の交渉は、首脳による指示と整合的な、野心的で包括的な高い水準の協定を実現するという長きに渡るコミットメントを反映するものとなる。また、我々は、何よりも、我々各国の国民にとって雇用、経済成長、機会を生み出すという共通の望みを引き続き指針としていく。

JOINT STATEMENT
TPP MINISTERIAL MEETING MAY 19-20 2014

We, the Ministers and Heads of Delegation for Australia, Brunei Darussalam, Canada, Chile, Japan, Malaysia, Mexico, New Zealand, Peru, Singapore, the United States and Vietnam have just completed a two-day Ministerial meeting during which we reviewed recent bilateral engagements, including the U.S.-Japan negotiations last month, as well as the results of the Chief Negotiators meeting last week in Ho Chi Minh City.

In a series of positive meetings we cemented our shared views on what is needed to bring negotiations to a close. We focussed in particular on making meaningful progress on market access and also advanced outstanding rules issues in an effort to narrow our remaining differences.

In order to further build on the momentum of negotiations, we have decided on a pathway of intensified engagement over the coming weeks on market access and rules. As part of that effort, which will take place bilaterally and in other configurations, we have instructed our Chief Negotiators to meet in July. At the same time, Ministers will continue to engage bilaterally to direct negotiations, coordinate, and tackle the most challenging outstanding issues. We will also continue our respective processes of domestic consultations.

Our negotiations during this most important period will continue to reflect our long-standing commitment to deliver an ambitious, comprehensive and high-standard agreement consistent with the instructions of our Leaders. We will also continue to be guided first and foremost by our shared desire to create jobs, economic growth and opportunity for the people of our countries.

ＴＰＰ交渉における日米協議の現状
(日米首脳会談、閣僚協議 於：東京)

内閣官房ＴＰＰ政府対策本部

- 日米両国は、４月２３日から２５日の３日間にわたり、ＴＰＰ交渉における日米間の残された課題について集中的に協議を行った。
- 安倍総理とオバマ大統領は、日米首脳会談で、ＴＰＰは、アジア太平洋地域に一つの経済圏を創り、普遍的価値を共有する国々と新たなルールを作り上げるものであり、地域全体にとって戦略的に極めて重要であるとの認識で完全に一致した。
- 両首脳からは、今回の首脳会談を一つの節目として、日米間の懸案を解決すべく、甘利大臣とフロマン代表の間で精力的かつ真摯な交渉を継続するよう指示があった。
- 首脳の指示を受け、両閣僚は精力的に協議を行い、一連の協議を通じて、日米の重要な懸案について道筋を確認した。
- 今後、日米が協力してＴＰＰを早期妥結へ導くことが重要であり、他の参加国との協議を日米が連携して加速化していく。

日米共同声明（TPP 部分）

平成26年4月25日

Our joint efforts are grounded in support for an international economic system that is free, open, and transparent, and embraces innovation. In order to further enhance economic growth, expand regional trade and investment, and strengthen the rules-based trading system, the United States and Japan are committed to taking the bold steps necessary to complete a high-standard, ambitious, comprehensive Trans-Pacific Partnership (TPP) agreement. Today we have identified a path forward on important bilateral TPP issues. This marks a key milestone in the TPP negotiations and will inject fresh momentum into the broader talks. We now call upon all TPP partners to move as soon as possible to take the necessary steps to conclude the agreement. Even with this step forward, there is still much work to be done to conclude TPP.

両国の共同の取組は、自由で、開かれ、透明であり、技術革新を推進する国際的な経済システムを支持することに基づいている。経済成長を更に増進し、域内の貿易及び投資を拡大し、並びにルールに基づいた貿易システムを強化するため、日米両国は、高い水準で、野心的で、包括的な環太平洋パートナーシップ（TPP）協定を達成するために必要な大胆な措置をとることにコミットしている。本日、両国は、TPPに関する二国間の重要な課題について前進する道筋を特定した。これは、TPP交渉におけるキー・マイルストーンを画し、より幅広い交渉への新たなモメンタムをもたらすことになる。両国は全てのTPP交渉参加国に対し、協定を妥結するために必要な措置をとるために可能な限り早期に行動するよう呼びかける。このような前進はあるものの、TPPの妥結にはまだなされるべき作業が残されている。